

事務所ビルの設計が可能となりました

1. CLT 壁の採用により高強度の耐力壁の採用
2. 床受けの柱の配置が可能となりました。長期のみ解析。

CLT 付きの柱の配置が可能となりました。解析は、長期と地震の解析を行います。

以上の機能の追加により大空間の設計が可能となりました。CLT の耐力壁は、どの階にも配置が可能です。解析は7階迄可能となり、大幅に機能強化致しました。

今回の物件は、CLT + 2 × 4 による立面混構造の合理的設計法検討委員会（国交省国総研・林野庁・2 × 4 協会・CLT 協会・住木センター）検証物件 CLT 一層 + 2 × 4 三層の物件でしたが、弊社にて7階建ての検証を行いました。CLT 5層 + 2 × 4 二層にて解析が可能です。

CLT の導入により設計範囲が大幅に増加致しました。解析の通りが少なく部材も少ないので、施工費も大幅に削減が可能ですし、施工期間も大幅に短縮可能です。基礎も純木造ですので安価となります。新ルート 2 にて解析可能ですので、建築主事にて確認が可能です。今後、純木造の中高層木造ビルの中心となると思われれます。

また、林野庁様より非住宅の CLT につき、 m^3 14 万円の補助金が交付されます。

S 造・RC 造に比べ、費用・工期・消却年数が大幅に優れております。

新工法としてご検討下さい。